

大阪市感染症診査協議会委員名簿

(令和7年4月1日)

	氏 名	所 属
感染症指定医療機関の医師	浅井 一久	大阪公立大学 大学院医学研究科 呼吸器内科学 准教授
	小牟田 清	一般社団法人大阪府結核予防会 大阪複十字病院 総長
	白野 倫徳	大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター 感染症内科部長
感染症の患者の医療に関し学識経験を有する者(感染症指定医療機関の医師を除く)	上平 朝子	独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター 感染制御部長・HIV/AIDS 先端医療開発センター診療部長・HIV/AIDS 先端医療開発センター研究医長
	掛屋 弘	大阪公立大学 大学院医学研究科 臨床感染制御学 教授
	澤田 好伴	医療法人 橘甲会
	柴多 渉	大阪公立大学 大学院医学研究科 臨床感染制御学 講師
	引石 文夫	元浅香山病院 臨床検査部長
法律に関し学識経験を有する者	隈元 暢昭	さくら法律事務所
医療及び法律以外の学識経験を有する者	甲田 伸一	元大阪市健康局長
	駒井 好信	大阪市総合教育センター スクールアドバイザー

任期:令和7年4月1日～令和9年3月31日

大阪市感染症診査協議会委員名簿（案）

（令和7年4月1日）

【感染症部会】

	氏 名	所 属
感染症指定医療機関の医師	白野 倫徳	大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター 感染症内科部長
感染症の患者の医療に関し学識経験を有する者（感染症指定医療機関の医師を除く）	上平 朝子	独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター 感染制御部長・HIV/AIDS 先端医療開発センター 診療部長・HIV/AIDS 先端医療開発センター研究 医長
	掛屋 弘	大阪公立大学 大学院医学研究科 臨床感染制御学 教授
	澤田 好伴	医療法人 橘甲会
法律に関し学識経験を有する者	隈元 暢昭	さくら法律事務所 ※結核部会と兼務
医療及び法律以外の学識経験を有する者	駒井 好信	大阪市総合教育センター スクールアドバイザー

【結核部会】

	氏 名	所 属
感染症指定医療機関の医師	浅井 一久	大阪公立大学 大学院医学研究科 呼吸器内科学 准教授
	小牟田 清	一般社団法人大阪府結核予防会 大阪複十字病院 総長
感染症の患者の医療に関し学識経験を有する者（感染症指定医療機関の医師を除く）	柴多 渉	大阪公立大学 大学院医学研究科 臨床感染制御学 講師
	引石 文夫	元浅香山病院 臨床検査部長
法律に関し学識経験を有する者	隈元 暢昭	さくら法律事務所 ※感染症部会と兼務
医療及び法律以外の学識経験を有する者	甲田 伸一	元大阪市健康局長

任期：令和7年4月1日～令和9年3月31日

2024年 3類感染症概要

資料3

(※2025/3/5時点)

	件数	性別		菌型			推定感染経路			推定感染地域	
		男	女	flexneri(B群)	boydii(C群)	sonnei(D群)	経口	性的接触	不明	国外	国内
細菌性赤痢	1	1	0	-	1	-	-	-	1	1	-

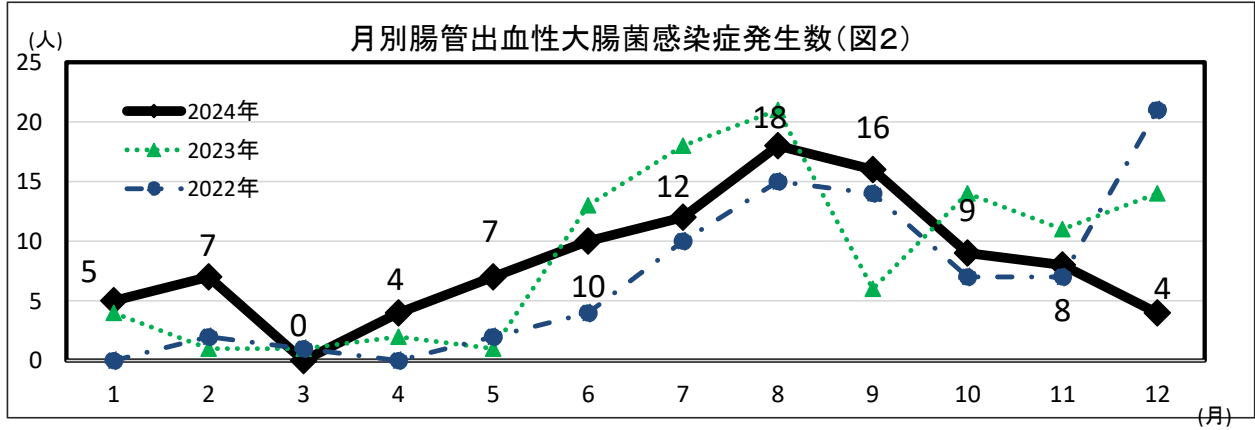
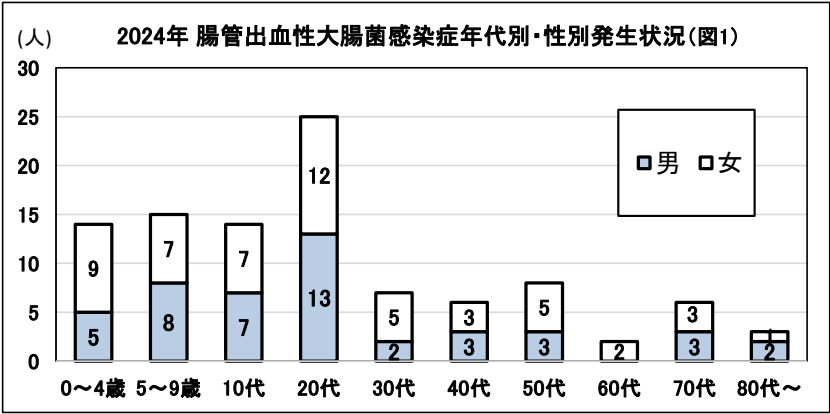
	件数	性別		推定感染経路		推定感染地域	
		男	女	経口	不明	国外	国内
腸チフス	2	2	-	-	3	2	-

	件数	性別		推定感染経路		推定感染地域	
		男	女	経口	不明	国外	国内
パラチフス	1	-	1	1	-	1	-

	件数	血清型	毒素型	合計	男	患者		女	患者	
						患者	無症状		患者	無症状
腸管出血性大腸菌感染症	100	O103	VT1	1				1	1	
		O111	VT1VT2	1	1	1				
		O115	VT1	1	1		1			
		O26	VT1	3	2	2		1	1	
		O146	VT1VT2	2				2		2
		O157	VT1	7	4	4		3	3	
			VT2	33	14	9	5	19	14	5
			VT1VT2	33	15	12	3	18	11	7
			型不明	3	3	2	1			
		O165	VT2	1				1	1	
		O168	VT2	1				1		1
		不明	VT1	5	2	1	1	3	2	1
		不明	VT2	2	1		1	1		1
		不明	VT1VT2	4	1		1	3	2	1
		便でのペロ毒素の検出		2	2	2				
		血清でのO抗原凝集抗体の検出		1				1	1	
		HUS(再掲)		(10)	(5)	(5)		(5)	(5)	
		合計		100	46	33	13	54	36	18

年別腸管出血性大腸菌感染症発生数
(表1)

年	発生数
2024年	100
2023年	106
2022年	83



資料4

2024年4・5類感染症概要

(※2025/3/1時点)

4類感染症	件数	性別		病型	合計	性別	
		男	女			男	女
E型肝炎	2	1	1				
A型肝炎	3	1	2				
ジカウイルス感染症	1	1	0	ジカウイルス病	1	1	0
チクングニア熱	1	0	1				
デング熱	7	4	3	デング熱	6	4	2
				デング熱出血熱	1	0	1
日本紅斑熱	6	5	1				
マラリア	3	3	0	熱帯熱	2	2	0
				不明	1	1	0
レジオネラ症	43	32	11	肺炎型	39	30	9
				ポンティアック熱型	4	2	2

5類感染症	件数	性別		病型	合計	性別	
		男	女			男	女
アメーバ赤痢	18	15	3	腸管アメーバ症	17	14	3
				腸管外アメーバ症	1	1	0
ウイルス性肝炎	16	15	1	B型	9	9	0
				C型	3	3	0
				その他	4	3	1
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	68	38	30				
急性脳炎	3	2	1	インフルエンザウイルスB	1	1	0
				病原体不明	2	1	1
クリプトスポリジウム症	3	3	0				
クロイツフェルト・ヤコブ病	2	0	2	古典型	2	0	2
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	44	23	21				
後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）	66	63	3	無症候性キャリア	43	41	2
				AIDS	18	17	1
				その他	5	5	0
ジアルジア症	3	2	1				
侵襲性インフルエンザ菌感染症	25	15	10				
侵襲性髄膜炎菌感染症	5	0	5				
侵襲性肺炎球菌感染症	102	67	35				
水痘（入院例）	17	11	6	検査診断例	9	7	2
				臨床診断例	8	4	4
梅毒	1530	693	837	先天梅毒	7	2	5
				早期顕症梅毒（Ⅰ、Ⅱ期）	560	391	169
				早期顕症梅毒（Ⅰ、Ⅱ期）	416	175	241
				晩期顕症梅毒	14	11	3
				無症候	533	114	419
播種性クリプトコックス症	6	2	4				
破傷風	3	1	2				
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	4	3	1				
百日咳	126	72	54				
麻しん	3	2	1	修飾麻しん（検査診断例）	1	1	0
				麻しん（検査診断例）	2	1	1

大阪市におけるHIV感染者・エイズ患者の状況（令和6年）

大阪市における新規HIV感染者・新規エイズ患者（令和6年第1週～52週）の報告状況は次のとおりです。

①年次別推移

区分	HIV感染者 報告数	エイズ患者 報告数	合計
～平成元年	0	0	0
平成2年	3	2	5
平成3年	4	1	5
平成4年	14	3	17
平成5年	7	1	8
平成6年	14	4	18
平成7年	7	1	8
平成8年	5	2	7
平成9年	13	6	19
平成10年	25	5	30
平成11年	30	13	43
平成12年	31	7	38
平成13年	58	17	75
平成14年	55	16	71
平成15年	68	11	79
平成16年	99	17	116
平成17年	100	16	116
平成18年	118	12	130
平成19年	130	28	158
平成20年	164	31	195
平成21年	147	45	192
平成22年	165	49	214
平成23年	140	50	190
平成24年	108	32	140
平成25年	145	40	185
平成26年	130	42	172
平成27年	149	41	190
平成28年	119	31	150
平成29年	100	33	133
平成30年	95	28	123
平成31年	87	20	107
令和2年	75	19	94
令和3年	64	13	77
令和4年	63	10	73
令和5年	52	11	63
令和6年	48	18	66
合 計	2632	675	3307

②感染経路別

区分	HIV感染者 報告数	エイズ患者 報告数	合計
異性間性的接触	9	2	11(16.7%)
同性間性的接触	32	15	47(71.2%)
静注薬物使用	0	0	0(0%)
母子感染	0	0	0(0%)
その他	1	0	1(1.5%)
不明	6	1	7(10.6%)
合 計	48	18	66

③年齢区分

区分	HIV感染者 報告数	エイズ患者 報告数	合計
20歳未満	3	0	3(4.5%)
20歳代	21	3	24(36.4%)
30歳代	14	4	18(27.3%)
40歳代	2	4	6(9.1%)
50歳代	5	4	9(13.6%)
60歳以上	3	3	6(9.1%)
合 計	48	18	66

④国籍・性別

区分	HIV感染者 報告数	エイズ患者 報告数	合計
男性（日本人）	35	17	52
（その他）	10	0	10
（不 明）	1	0	1
女性（日本人）	1	1	2
（その他）	1	0	1
（不 明）	0	0	0
小 計： 男性	46	17	63
女性	2	1	3
合 計	48	18	66

⑤感染地域別

区分	HIV感染者 報告数	エイズ患者 報告数	合計
国 内	38	16	54
海 外	3	1	4
不 明	7	1	8
合 計	48	18	66

注）後天性免疫不全症候群の予防に関する法律施行後（平成元年2月17日以降。平成11年4月1日より「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に統合）、血液凝固因子製剤が原因とされる方は、法による報告から除外されています。